

建築構造科(奇数年度)

| | | | | | |
|------|---|------|---|----|-------|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法や構造計算の概要など、建築構造に関する知識の習得を図る。 ・的確な構造体審査、検査、構造設計監理を行う能力の向上を図る。 ・適切に業務を行うための課題を認識し、業務改善意欲の向上を図る。 | | | | |
| 対象 | 建築指導、営繕等において確認審査(構造)、設計、工事監理、工事発注等を担当する技術系職員。ただし、技術系職員を配置していない団体については、事務系職員でも可とする。 | | | | |
| 研修日程 | 11/19(水)~20(木) | | | 日数 | 2日 |
| | | | | 時間 | 13:00 |
| 実施科目 | 科目名 | 時間数 | 科目内容 | 方法 | |
| | 建築基準法の概要 | 6:30 | ・構造関係の仕様規定と計算規定(建築構造に関する法規の確認と構造計算の流れ) | 講演 | 義習 |
| | 確認審査における構造審査と構造体検査 | 6:30 | ・構造審査(主に鉄筋コンクリート造、鉄骨造の審査のチェックポイント) ・構造体審査(主に鉄筋コンクリート造、鉄骨造の検査のチェックポイント) | 講演 | 義習 |
| 講師 | 市町村職員講師または東京都職員講師等 | | | | |

参加した研修生の声

- ・構造の設計については専門的すぎて関わらないというイメージを持っていたが、構造設計の順序など学べたことで身近に感じる事ができた。
- ・法文に具体的な記述がない事柄についても、各種参考図書等をうまく活用することで考え方を整理し、回答へと導けることがわかった。
- ・既存不適格となる建物の改修設計等の業務があるので、演習でも行った手順を実践していきたい。
- ・とてもためになったので、もっと基本的なところから教えてもらいたかった。

研修所メッセージ

- ・災害から市民の生命や財産を守るため、また防災上重要な公共建築物の安全性の確保という観点から、構造設計等の監理機能の強化や、建築構造についての知識向上が求められています。
- ・確認審査(構造)、設計、工事監理、工事発注等を担当する方を対象として、建築の分野の中でも専門性が高く、実務において身につけることが難しい「建築構造」の考え方の基本となる部分について、講義を実施します。
- ・この研修は建築構造の基礎知識があることを前提に講義を行います。